

与論町のあゆみ

1266年（文永3年）

・琉球国の英祖王に納貢し、琉球所属となる

1405年（応永12年）－1416年（応永23年）

・琉球北山王の三男王舅が与論城を築く
・城は北山滅亡のため未完成となる

1525年（大永5年）

・又吉按司、与論島主となる

1561年（永禄4年）

・十五夜踊り始まる

1609年（慶長14年）

・島津の琉球入り、尚寧王降伏

1610年（慶長15年）

・薩摩藩の所属となる
・直川智、サトウキビを初めて大島の大和浜に栽培

1612年（慶長18年）

・大島本島に代官を設置

1616年（元和2年）

・徳之島に代官を設置
・屋口与論主藩主任官となる

1682年（天和2年）

ソテツ
・蘇鉄植栽始まる

1690年（元禄3年）

・沖永良部島代官、徳之島より分離

1691年（元禄4年）

・（人口1,294人）

1719年（享保4年）

・琉球王へ贈物

1721年（享保6年）

・（人口2,130人）

1778年（安永7年）

・痘瘡（天然痘）が大流行し、大飢饉となり多数の死者が出る

1781年（安永10年）

・台風が襲来、大飢饉となり、琉球より米を拝借

1799年（寛政11年）

・（人口3,357人）

1800年（寛政12年）

・琉球国王へ贈物

1808年（文化5年）

ウブラ
・唐（中国）船、茶花村大浦へ漂着

1809年（文化6年）

・大干ばつのため、翌年まで大飢饉となる

1815年（文化12年）

・（人口3,530人）

1819年（文政2年）

・沖永良部島にサトウキビの植付け始まる

1824年（文政7年）

・金比羅神社を樋口石垣上に建立
・（人口4,248人）

1825年（文政8年）

・天然痘が流行

1826年（文政9年）

・天然痘が流行し、大飢饉となり多数の死者が出る

1829年（文政12年）

・大島、砂糖を総買上げ、金銭取り引き始まる

1831年（天保2年）

・（人口3,180人）

1835年（天保6年）

・金比羅神社を上城へ移す
・麻疹（はしか）流行

1838年（天保9年）

・（人口3,203人〈男1,617人、女1,586人〉）

1845年（弘化2年）

・（人口3,700人〈男1,878人、女1,822人〉）

1851年（嘉永4年）

・疫病が流行し、250人が死亡

1852年（嘉永5年）

・（人口3,888人〈男1,994人、女1,894人〉）

1869年（明治2年）

・高千穂神社を建立

1871年（明治4年）

・地主神社を建て氏神をまとめて祭る

1873年（明治6年）

・与論島が沖永良部から行政上分離独立
・鶴政信氏初代戸長に就任
・砂糖の売買が自由になる

1875年（明治8年）

・与論支所設立
・大水間切と東間切に戸長役場を設置
・一般の人に名字がつけられる
・学問所（ナンカル学校）開校（児童数90人、教師5人）
・（人口5,683人）

1877年（明治10年）

・西南戦争に2名出兵

1878年（明治11年）

・風葬が禁止される
・享野学校（与論小の前身）開校
・チフスやコレラが大流行
・与論郵便局を城に設置（局長 平直和加氏）

1879年（明治12年）

・汽船が初めて入港

1880年（明治13年）

・上野應介氏戸長に就任（21年間在職）
・田畑の検地・登録を実施

1882年（明治15年）

・学級編成を初等・中等・高等の三階級に定める

1884年（明治17年）

・十五夜踊りが中止される

与論町のあゆみ

- 1886年（明治19年）**
・天然痘・台風・火災の被害により飢饉
- 1887年（明治20年）**
・与論簡易小学校となる
- 1890年（明治23年）**
・沖永良部警察署与論駐在所を設置
・十五夜踊りが復活
- 1894年（明治27年）**
・日清戦争に9名出兵
- 1897年（明治30年）**
・簡易小学校を廃止、与論尋常小学校となる
- 1898年（明治31年）**
・猛烈な台風が襲来し4年間大飢饉となる
- 1899年（明治32年）**
・足戸に巡査駐在所を設置
・裁判所出張所を城に設置
・長崎県口之津への移住始まる
- 
- 長崎県口之津町での与論館落成式（平成7年2月）
与論館：明治32年に集団移住して石炭積出し労務に従事し、口之津繁栄の一端を支えてくれた与論の人達が使った当時の住宅（与論長屋）を館内に縮小再現した他、与論との縁を物語る様々な資料を展示し、その絆を永く伝えようと築いた館。
- 1900年（明治33年）**
・与論尋常小学校の分校を茶花と那間に開校
- 1901年（明治34年）**
・梅山藤里氏戸長に就任
- 1904年（明治37年）**
・日露戦争に25名出兵
- 1905年（明治38年）**
・戸長役場を城から茶花に移転
・時千良氏戸長に就任
- 1906年（明治39年）**
・赫助熊氏戸長に就任
- 1908年（明治41年）**
・与論村となり村役場を置く
・龍田佐隆史氏初代村長に就任
・第1回村会議員選挙実施
- 1909年（明治42年）**
・菅原神社を琴平神社に合祀する
- 1911年（明治44年）**
・茶花・麦屋（西区）間に道路開通
・大野好文氏県会議員に当選

- 1912年（大正元年）**
・龍宮辰次郎氏村長に就任
- 1914年（大正3年）**
・第1次世界大戦に10名出兵
- 1915年（大正4年）**
・龍中興氏村長に就任
- 1916年（大正5年）**
・与論島一周道路が開通
・皆吉平安禎氏村長に就任
- 1917年（大正6年）**
・麦屋と立長から分立して城字ができる
- 1918年（大正7年）**
・山下平志氏村長に就任
- 1919年（大正8年）**
・麦屋から西区と東区に分かれる
・茶花尋常小学校と那間尋常小学校が独立
- 1920年（大正9年）**
・足戸・古里・那間から分立して叶字ができる
・（第1回国勢調査による人口7,916人）
- 1922年（大正11年）**
・電報が打てるようになる
- 1924年（大正13年）**
・山喜見政氏村長に就任
- 1925年（大正14年）**
・（国勢調査による人口7,661人）
- 1926年（大正15年）**
・村立青年訓練所与論小内に開設
- 1927年（昭和2年）**
・鉛筆、ノートが使われ始める
- 1930年（昭和5年）**
・（国勢調査による人口8,227人）
- 1931年（昭和6年）**
・動力製糖工場（昭和工場）や精米所ができる
・脱穀機が初めて使われる
・満州事変に横山治興氏などが出兵
- 1933年（昭和8年）**
・茶花に消防団を結成
・黒田正孝氏村長に就任
- 1935年（昭和10年）**
・青年訓練所を廃し青年学校を開設
・（国勢調査による人口8,630人）
- 1936年（昭和11年）**
・村営汽船与論丸が与論-沖縄間に就航
- 1937年（昭和12年）**
・田中上安氏村長に就任
・村立青年学校が独立
・大金久に防砂林を植樹
- 1939年（昭和14年）**
・青年学校も義務制となる
・初めて自動車が走る（東亜燐鉍株式会社）

与論町のあゆみ

1940年（昭和15年）

- ・（国勢調査による人口7,889人）

1941年（昭和16年）

- ・尋常小学校を国民学校に改称
- ・黒田正孝氏村長に再就任
- ・村立青年学校が現在の与論中に完成
- ・太平洋戦争始まる

1943年（昭和18年）

- ・満州移民開拓団先遣隊出発（団長・伊藤佐江吉氏）
- ・足戸に郵便局を開設

1944年（昭和19年）

- ・満州移民開拓団第1陣出発
- ・金井清実氏村長に就任
- ・初空襲を受け与論丸沈没

1945年（昭和20年）

- ・3月23日から3日間の空襲を受け、茶花商店街や茶花校焼ける 同23日那間校、26日与論校や青年学校焼ける 4月4日琴平神社焼ける（全島で約370世帯が焼ける）8月15日終戦、10月に米軍初来島
- ・9月1日、3小学校入学式を挙行
- ・（人口7,913人）

1946年（昭和21年）

- ・アメリカ合衆国統治下に置かれ、日本と分離（2月2日）、帰国した満州移民団肝属郡田代町に再移住

1947年（昭和22年）

- ・青年学校を廃止し、村立実業高校を開校
- ・相撲・柔道協会を設立（会長 坂元原澄氏）
- ・酒工場（有村酒造）ができる
- ・与論村漁業会設立（会長 坂元原澄氏）

1948年（昭和23年）

- ・山本喜久政氏村長に就任
- ・学制改革により、国民学校を小学校と改称
- ・与論中学校開校

1949年（昭和24年）

- ・与論村立与論実業高等学校廃校

1950年（昭和25年）

- ・農協に自動車が入る（戦後初）
- ・（人口8,141人）

1951年（昭和26年）

- ・与論（茶花に150灯）に初めて電灯がともされる（南発電所）

1952年（昭和27年）

- ・龍野通雄氏村長に就任
- ・初代教育長に武田惠喜光氏就任

1953年（昭和28年）

- ・奄美群島が日本に復帰（12月25日）



奄美本土復帰を祝う児童生徒たち

1954年（昭和29年）

- ・足戸を朝戸に改称
- ・与論中学校に鉄筋校舎が完成
- ・与論小学校にPTAによる付属幼稚園を開設
- ・小祝幸一氏、小笠原からカボチャの種子を持ち込み栽培を始める
- ・与論村漁協同組合と改称
- ・2代教育長 伊藤佐孝氏就任

1955年（昭和30年）

- ・診療所を開設
- ・山下平志氏村長に再就任
- ・（国勢調査による人口7,851人）
- ・3代教育長 山下福哉氏就任

1956年（昭和31年）

- ・与論小学校に鉄筋校舎が完成
- ・4代教育長 東可梯氏就任

1957年（昭和32年）

- ・村営発電所できる
- ・那間小学校に鉄筋校舎が完成

1958年（昭和33年）

- ・茶花小学校に鉄筋校舎が完成
- ・電話が開通
- ・テレビが見られるようになる
- ・あけぼの丸が就航
- ・奄美大島信用金庫与論支店開設

1959年（昭和34年）

- ・久留富森氏村長に就任

1960年（昭和35年）

- ・タクシーが走るようになる（南タクシー）
- ・（国勢調査による人口7,792人）

1961年（昭和36年）

- ・プロパンガスの使用始まる（吉田プロパン）

1962年（昭和37年）

- ・バスが走るようになる（南陸運）
- ・大型製糖工場ができる
- ・兼母灯台ができる
- ・一周道路が県道になる

1963年（昭和38年）

- ・1月1日、町制施行「与論町」となる
- ・龍野通雄氏町長に就任
- ・南島開発K.K. 与論工場操業開始
- ・江が島棧橋竣工
- ・大干ばつ続く
- ・小中学校で学校給食始まる
- ・町体協ができ、第1回町民体育大会開催

1964年（昭和39年）

- ・茶花・立長に町で初めての簡易水道施設ができる
- ・5代教育長 竹内得吉氏就任

1965年（昭和40年）

- ・与論中学校に2階校舎と体育館完成
- ・照国丸が就航
- ・麦屋地区簡易水道施設ができる
- ・観光協会創設
- ・（国勢調査による人口7,181人）

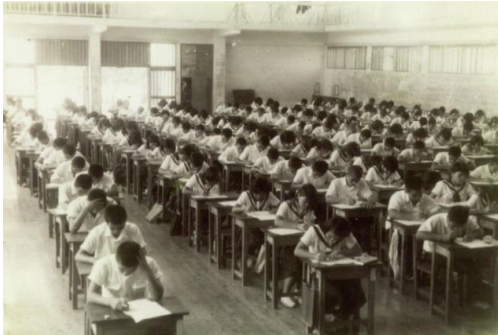
1966年（昭和41年）

- ・県道の舗装工事始まる
- ・町章を制定
- ・与論町商工会ができる

与論町のあゆみ

1967年（昭和42年）

- ・大島高等学校与論分校開校（中学校内）
- ・役場新庁舎落成
- ・三州高等経理学校開校
- ・農業構造改善事業開始
- ・町民440人、東京見学（波の上丸）
- ・龍野通雄氏町長に就任（2期目）



与論中学校体育館で行われた大島高等学校与論分校
第一回入学試験

1968年（昭和43年）

- ・茶花小体育館が完成
- ・大島高等学校与論分校現在地へ移転
- ・麦屋へき地出張診療所開設
- ・あまみ丸就航
- ・消防ポンプ自動車購入

1969年（昭和44年）

- ・農村振興センター（現中央公民館）完成
- ・田代町と姉妹盟約を結ぶ
- ・那間簡易郵便局開設
- ・那間へき地診療所開設
- ・大島高等学校与論分校に本校舎が完成

1970年（昭和45年）

- ・ミカンコミバエ航空防除
- ・琴平神社の大鳥居が完成
- ・町営電気事業大島電力へ合併
- ・ハイビスカス丸就航
- ・大島紬織工養成所落成
- ・那間簡易水道施設ができる
- ・朝戸保育所が落成
- ・「与論町第一次振興計画」策定
- ・（国勢調査による人口7,096人）

1971年（昭和46年）

- ・県立与論高等学校が独立
- ・赤崎灯台できる
- ・各小学校に町立幼稚園を併設
- ・十五夜踊り、県の無形民俗文化財に指定
- ・那間小学校に体育館が完成
- ・龍野通雄氏町長に就任（3期目）

1972年（昭和47年）

- ・地域集団電話が開設
- ・喜山盛治氏、藍綬褒章を受章
- ・ごみ焼却炉ができる
- ・ひかり丸、クイーンコーラル就航
- ・太陽国体採火式と炬火リレー挙行
- ・与論高校に体育館が完成
- ・与論空港測量開始
- ・麦屋へき地保健福祉館落成
- ・沖縄が祖国復帰（5月15日）
- ・与論高校学級増（3学級）

1973年（昭和48年）

- ・町制施行10周年記念式典を挙

- ・大島電力、九州電力へ合併
- ・与論空港工事始まる
- ・与論小体育館完成
- ・国民宿舎海中公園センター「ヨロン」完成
- ・与論島総合学術調査実施
- ・大島地区総合社会教育研究会開催
- ・与論町名誉町民に有村治峯氏と西田当元氏を推戴
- ・キビ価格引き上げ決起大会に76名上京

1974年（昭和49年）

- ・徳永運輸大臣来島
- ・与論島国定公園指定
- ・県道舗装完了
- ・町田原長氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・与論高校に武道館が完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり15,000円となる

1975年（昭和50年）

- ・学校給食センターが完成
- ・坂元原澄氏町長に就任
- ・エメラルドあまみ・クイーンコーラルII就航
- ・与論小創立100周年記念式典を挙
- ・大内森業氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・（国勢調査による人口6,971人）
- ・6代教育長 山下勇夫氏就任

1976年（昭和51年）

- ・与論空港が開港
- ・木村運輸大臣、金丸県知事、屋良沖繩県知事が来島
- ・台風17号で大被害を受ける（災害救助法適用）
- ・特別養護老人ホーム「ヨロン園」完成
- ・与論高校創立10周年記念式典を挙
- ・郡内市町村議員大会開催
- ・大島地区老人スポーツ大会開催



与論空港開港

1977年（昭和52年）

- ・龍野通雄氏、大原里奥氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・航空郵便始まる
- ・台風9号で大被害を受ける（災害救助法適用）
- ・あけぼの丸就航
- ・東亜国内航空鹿児島直行便が開通
- ・サトウキビ価格1トン当たり18,000円となる
- ・全国ダイヤル即時通話が開通
- ・鹿児島与論会50周年記念式典を挙



製糖終了祝い

1978年（昭和53年）

- ・与論中学校創立30周年記念式典を挙

与論町のあゆみ

- ・立長へき地保健福祉館が完成
- ・茶花小学校特別教室（3階建て）完成
- ・県民体育大会奄美大島地区大会を与論で開催
- ・那覇、与論間空路開設実現（南西航空）
- ・与論郵便局創立100周年記念式典を挙
- ・青年会館完成
- ・町旗・町民歌制定
- ・百合ヶ浜周辺海浜地を町一括管理
- ・竹内得吉氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・満州開拓団犠牲者の慰霊碑建立
- ・東区青少年センター完成

1979年（昭和54年）

- ・与論校区農村基盤総合整備事業始まる
- ・新しい診療所がオープン
- ・防災行政無線を設置
- ・医師住宅を建設
- ・茶花保育所を開設
- ・与論民間放送中継局の建設
- ・与論港初接岸（供利）
- ・与論町で車座対談開催（鎌田要人県知事来島）
- ・与論町交通安全協会が発足
- ・山市郎氏町長に就任
- ・名誉町民に山下平志氏、龍野通雄氏を推戴
- ・川畑森城氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・南西航空日発運航
- ・南西航空沖永良部就航（月・水・金）
- ・那間へき地保健福祉館落成
- ・7代教育長 益田元甫氏就任



大型フェリーの与論港初接岸(供利)を祝う式典

1980年（昭和55年）

- ・茶花地区公民館完成
- ・朝戸児童館が完成
- ・東十条小学校（東京）と与論町3小学校姉妹校盟約協定
- ・茶花小、与論小に夜間照明施設設置
- ・古里青少年センターが完成
- ・交通信号機を設置（農協前）
- ・波之上丸が就航
- ・（国勢調査による人口7,320人）

1981年（昭和56年）

- ・叶生活館が完成
- ・那間小附属幼稚園舎が完成
- ・那間小、与論中に夜間照明施設設置
- ・山下平志氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・喜山盛治氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・地籍調査を完了
- ・「第2次与論町振興計画基本構想」策定
- ・名誉町民に伊藤佐江吉氏を推戴
- ・役場3階増築

1982年（昭和57年）

- ・伝染病棟が完成
- ・城青少年センターが完成
- ・与論高校に小体育館が完成
- ・ニュークイーンコーラルが就航

- ・与論中に特別教室が完成（LL教室・図書室など）
- ・浄水場が完成
- ・岩山新二氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・大島地区社会福祉大会開催
- ・谷山慶介氏郡町村議会議長に就任
- ・南三島老人スポーツ大会開催
- ・農協選果場完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり21,450円となる

1983年（昭和58年）

- ・防災センター完成
- ・ヨロシバナウル王国を建国する
- ・新しいゴミ焼却炉施設が完成
- ・町制施行20周年記念式典を挙
- ・町民音頭を制定
- ・川畑浩一氏町長に就任
- ・沖永良部与論地区消防組合与論分遣所が完成
- ・茶花生活館が完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり21,470円となる
- ・ドルニエ機（日本エアコミューター）が奄美大島・与論間に就航



ヨロシバナウル王国建国パレード

1984年（昭和59年）

- ・消防自動車（10トンタンク車）購入
- ・町立図書館が完成
- ・総合運動場が完成
- ・自治公民館制度が発足
- ・大島支部消防操法大会開催
- ・ギリシャ国ミコノス市と姉妹盟約締結（川畑浩一町長以下26人がミコノス島を親善訪問）



ミコノス島を親善訪問

1985年（昭和60年）

- ・ミコノス市・与論町姉妹盟約締結記念式典を挙
- ・国駐日大使コンスタンティノス・ディベロプロス氏来島
- ・茶花小・那間小学校創立85周年記念式典を挙
- ・町内全小組合長研修会を初めて開催
- ・ドルニエ機(日本エアコミューター) 徳之島与論間に就航
- ・（国勢調査による人口7,222人）

1986年（昭和61年）

- ・与論中学校の新体育館完成

与論町のあゆみ

- ・那間保育所が完成
- ・製糖史上最高の64,859トンを生産
- ・定期船「ありあけ」が就航
- ・総合運動場に夜間照明施設を設置
- ・定期船「クイーン・コーラル7」が就航
- ・与論高等学校創立20周年記念式典举行
- ・第32回奄美地区総合社会教育研究大会を開催
- ・上野應介翁頌徳碑を建立

1987年（昭和62年）

- ・多目的運動広場（テニスコート）が完成
- ・特別養護老人ホーム「ヨロン園」創立10周年記念祝典を举行
- ・鎌田要人県知事が来島し車座対談開催
- ・第41回県民体育大会第28回大島地区大会を開催
- ・福富雄氏町長に就任
- ・川畑茂氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・プリシアリゾートヨロン開業

1988年（昭和63年）

- ・川畑芽出雄氏、藍綬褒章を受章
- ・市内局番1桁から2桁となる
- ・益田元甫氏、勲4等瑞宝章を受章
- ・与論中学校新校舎が完成（普通教室・多目的教室・給食コンテナ室など）
- ・農業集落排水施設工事着工
- ・与論町誌発刊
- ・8代教育長 福永政直美氏就任

1989年（平成元年）

- ・防災無線施設（戸別受信機）整備
- ・与論高校テニス部全国大会初出場
- ・与論幹部派出所移転新築落成
- ・戸別受信機による定時放送（広報サービス）開始
- ・与論・田代姉妹町盟約20周年記念行事開催
- ・与論港（茶花地区）完成開港
- ・フェリーあけぼの（新造船）就航
- ・那間小全日本健康優良学校表彰受賞（4度目）
- ・谷山慶介氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・萩原富吉氏、勲6等単光旭日章を受章

1990年（平成2年）

- ・那間小プール完成
- ・全郡議会議員大会開催
- ・肉用牛飼養頭数2,000頭突破
- ・（国勢調査による人口6,704人）

1991年（平成3年）

- ・保健センター完成
- ・琴龍橋・翔龍橋開通
- ・平田敏秀氏町長に就任
- ・有村泰治氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・第3次与論町総合振興計画策定

1992年（平成4年）

- ・第1回ヨロンマラソン開催（参加者1,317人）
- ・B & G 海洋センター（プール・艇庫）オープン
- ・元プロ野球選手村田兆治氏来島講演
- ・ヨットウーマン今給黎教子氏来島講演
- ・元気通りを宣言（朝戸集落）
- ・ゆんぬ青年エイサー結成
- ・第1回ダイビングフェスティバル開催

1993年（平成5年）

- ・旧巡視船「あまみ」品覇海岸沖に沈める
- ・サザンクロスセンターオープン
- ・水産物加工施設完成
- ・総合育苗センター完成
- ・第1回元気七夕祭開催（朝戸集落）
- ・砂美地来館完成
- ・県民体育大会サッカー大島地区与論大会で与論優勝

- ・町制施行30周年記念式典を举行
- ・クイーンコーラル（新造船）就航
- ・「与論の十五夜踊」、国の重要無形民俗文化財に指定
- ・肉用牛飼養頭数3,000頭突破
- ・山下勇夫氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・竹下茂徳氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・永野平治氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・10代教育長 竹下徹氏就任

1994年（平成6年）

- ・移動図書館車巡回始まる
- ・与論高校弓道場完成
- ・若松光茂氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・石川サトイモ集出荷施設完成
- ・与論町老人保健福祉計画策定
- ・フェリーなみのうえ（新造船）就航
- ・竹村福哉氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・中央通り会・銀座通り会発足

1995年（平成7年）

- ・サトウキビ品質取引始まる
- ・与論救難所発足
- ・松山俊一氏、勲7等瑞宝章を受章
- ・与論町緑化基本計画策定
- ・B & G 与論海洋センター（プール・艇庫）無償譲渡
- ・平田敏秀氏町長に就任（2期目）
- ・サブ機（日本エアコミューター）奄美与論間就航
- ・ありあけ（新造船）就航（与論は不定期）
- ・与論郵便局新築移転
- ・与論小学校創立120周年記念式典を举行
- ・町連合青年団結成50周年記念式典举行
- ・土壌診断センター完成
- ・赤佐地区農業集落排水施設供用開始
- ・（国勢調査による人口6,210人）

1996年（平成8年）

- ・与論徳州会病院オープン
- ・地域福祉センターオープン
- ・川畑芽出雄氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・野ロスマエ氏、勲7等宝冠章を受章
- ・町商工会設立30周年記念式典を举行
- ・クルーズフェリー飛龍与論航路に就航
- ・与論2世本博国（ボクシング）アトランタオリンピック出場
- ・与論港コースタルリゾート整備事業始まる
- ・与論高校創立30周年記念式典を举行

1997年（平成9年）

- ・与論－沖縄路線、日本トランスオーシャン航空から琉球エアコミューターへ移管される
- ・ギリシャ村開村（代表 阿由葉辰夫氏）
- ・結団多目的広場（ソフトボール場）完成
- ・さとうきび生産振興島ぐるみ総決起大会開催
- ・与論十五夜踊り保存館（1,2番組）完成
- ・多目的屋内運動場完成
- ・アイランドフォーラムが開催される
- ・与論中学校創立50周年記念式典を举行
- ・ヨロン沖縄音楽交流祭始まる

1998年（平成10年）

- ・指定金融機関業務開始（与論町農協）
- ・名誉町民有村治峯氏白寿祝賀会開催
- ・南大島農業共済事業合併（徳之島、沖永良部、与論）与論支所開設（本部伊仙町）
- ・全国与論会創立30周年記念式典を举行
- ・与論郵便局開局120周年記念式典を举行

1999年（平成11年）

- ・山市郎氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・国の緊急経済対策で「地域振興券」を交付
- ・役場電算システム（総合行政システム）導入

与論町のあゆみ

- ・喜村政森氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・クイーンコーラル8 初就航
- ・南政吾氏町長に就任
- ・与論町・ギリシャ国ミコノス市姉妹盟約15周年記念式典を挙行
- ・やんばる駅伝競走大会に正会員として参加

2000年（平成12年）

- ・与論中学校と与論高校を文部科学省指定の研究開発実践校として連携型中高一貫教育校として指定
- ・介護保険制度始まる
- ・大角龍矢氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・金井清蔵氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・阿多繁氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・保岡興治代議士、法務大臣に就任
- ・名誉町民・有村治峯氏死去（享年100歳）
- ・茶花小学校創立100周年記念式典を挙行
- ・那間小学校創立100周年記念式典を挙行
- ・（国勢調査による人口6,099人）
- ・第10回やんばる駅伝競走大会与論大会開催

2001年（平成13年）

- ・ギリシャ・ミコノス市訪問団来島
- ・ヨロシママラソン第10回記念大会開催（参加者1,265人）
- ・与論町地域新エネルギービジョン策定
- ・役場に財務会計システム導入
- ・淡水化施設供用開始
- ・第4次与論町総合振興計画策定
- ・11代教育長 田中國重氏就任
- ・図書館の電算化及び町の公共施設を無線LANで結ぶ
- ・与論町地域婦人会連絡協議会結成50周年記念式典を挙行（平成14年4月から名称を「与論町地域女性団体連絡協議会」と改める）
- ・ホームページ開設

2002年（平成14年）

- ・与論町和牛改良組合が農林水産大臣賞を受賞
- ・町営「増木名住宅」が那間地区に完成
- ・「パナウル王国の環境憲法」を策定
- ・町立診療所閉診
- ・役場窓口に「総合窓口」を設置
- ・学校週5日制スタート
- ・リサイクルセンター稼働
- ・沖縄復帰30周年記念交流事業開催
- ・住民基本台帳ネットワークシステム稼働
- ・県内で初めて「カンキツグリーンング病」を確認
- ・名誉町民に益田元甫氏を推戴
- ・国の狂牛病緊急対策の一環として、すべての牛に10桁の番号がふられる「個体識別システム」を整備
- ・川田作福氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・谷山慶介氏、「正六位」（死亡叙位）を受章

2003年（平成15年）

- ・品覇海岸沖に海中宮殿が完成
- ・県内離島初、インターネット高速回線ADSLが島内全域で開通
- ・火葬場「昇龍苑」が完成
- ・南政吾氏町長に就任（2期目）
- ・与論町収入役の事務を助役が兼掌
- ・町制施行40周年・パナウル王国建国20周年・奄美群島日本復帰50周年記念式典を挙行
- ・「与論町の合併についての意思を問う住民投票」が行われ、合併反対票が8割を占める
- ・沖永良部・与論地域合併協議会を離脱
- ・南仁義氏、勲5等瑞宝章を受章



火葬場「昇龍苑」

2004年（平成16年）

- ・漁協に新製水施設が完成
- ・第36回大島支部消防操法大会開催
- ・町議会議員定数12人となる
- ・与論町自立化戦略会議が自立化計画を提言
- ・サトウキビ生産量が過去最低の26,430トンとなる
- ・名誉町民に池田政敏氏を推戴

2005年（平成17年）

- ・肉用牛販売額（平成16年度実績）が初10億円突破
- ・茶花小プールが完成
- ・有村悦弘氏、瑞宝単光章を受章
- ・消防自動車（10トン水槽車）を購入
- ・新麦屋配水池（200㎡）が完成
- ・YS11型機に替わりQ400型機（日本エアコミューター）が鹿児島・与論間に就航
- ・茶花小新体育館が完成
- ・町元按司雄氏、旭日単光章を受章
- ・堆肥センターが完成
- ・与論小学校創立130周年記念式典開催
- ・宇和寺住宅団地竣工
- ・有限会社エスユー 与論工場開設
- ・多機能型事業所秀和苑開設
- ・（国勢調査による人口5,731人）

2006年（平成18年）

- ・旧町立診療所を鹿児島大学与論活性化センターとして活用
- ・口之津町（現南島原市）と姉妹町協定を結ぶ
- ・町田末吉氏大島郡議会議長会長に就任
- ・錦江町（旧田代町・大根占町）と姉妹盟約を結ぶ
- ・地域提案型雇用創造促進事業導入
- ・知事と語る会開催（伊藤知事来島）
- ・野澤マゴさん（110歳）鹿児島島の最高齢者となる
- ・ストックヤードが完成
- ・与論高校創立40周年記念式典開催
- ・与論中学校野球部 県秋季大会で優勝
- ・新防災行政無線基地局及び屋外拡声器を整備

2007年（平成19年）

- ・与論港コースターリゾート完成式典開催
- ・パスポート申請・交付業務開始
- ・与論町地域包括支援センター開設
- ・「与論町ヨロシマサンゴ礁条例」制定
- ・Q300型機（琉球エアコミューター）与論・那覇間就航
- ・宇和寺団地（2号棟）完成
- ・町田末吉氏鹿児島県離島振興市町村議会議長会会長に就任
- ・与論中学校創立60周年記念式典開催
- ・株式会社LINKS（リンクス）与論島支社開設
- ・日本マルコ株式会社与論工場立地協定調印式
- ・南政吾氏町長に就任（3期目）

与論町のあゆみ

2008年（平成20年）

- ・与論小学校新校舎完成
- ・震度5弱の地震
- ・ライブカメラの稼働
- ・クイーンコーラルプラス・あけぼの丸新造船就航
- ・龍園福秀氏「瑞宝双光章」「正六位」（死亡叙位）受章
- ・山下勇夫氏「瑞宝双光章」「従六位」（死亡叙位）受章
- ・田畑宮郷氏「瑞宝双光章」「従六位」（死亡叙位）受章
- ・染川繁夫氏「瑞宝双光章」受章
- ・竹田福重氏「旭日双光章」受章

2009年（平成21年）

- ・ヨロン特産品支援センター開設
- ・町田末吉氏鹿児島県町村議会議長会会長に就任
- ・宇和寺団地（3号棟）完成
- ・ホームページ開設（リニューアル）
- ・佐藤持久氏・故山下為吉氏与論町民栄誉賞を受賞
- ・光ファイバ開通

2010年（平成22年）

- ・竹田福重氏、「正六位」（死亡叙位）を受章
- ・西村政達氏、「旭日単光章」（死亡叙勲）を受章
- ・永野展秀氏、「瑞宝双光章」を受章
- ・光才池氏、「瑞宝双光章」を受章
- ・教育スクウェア×ICT計画策定
- ・過疎計画策定
- ・空港ターミナルビル拡張工事完了
- ・役場南庁舎別館工事完了
- ・（国勢調査による人口5,327人）

2011年（平成23年）

- ・ヨロンマラソン第20回記念大会開催（参加者1,326人）
- ・宇和寺団地（4号棟）完成
- ・西金澄氏、「旭日単光章」を受章
- ・林壽雄氏、「旭日双光章」を受章
- ・第5次与論町総合振興計画策定
- ・ゆんぬ体験館完成
- ・ゆんぬ敷料化ラブセンター完成
- ・知事と語ろう会開催（伊藤知事来島）
- ・南政吾氏町長に就任（4期目）
- ・与論十五夜踊450周年祭開催
- ・池田一彌氏、「九州地方発明表彰」受賞



与論十五夜踊450周年祭開催

与論町のあゆみ

2014年（平成26年）

- ・田畑健一氏、「旭日単光章」受章
- ・最終処分場完成
- ・児玉政徳氏、「旭日単光章」（死亡叙勲）受章
- ・益山政喜久氏、「瑞宝双光章」受章
- ・町営城団地完成
- ・与論町公式フェイスブック開設
- ・第1回沖繩・与論島ヨットレース開催
- ・2年間中止されていた第50回町民体育大会を開催
- ・奄美群島のご当地ナンバー「奄美」交付開始
- ・県営宇和寺団地（3号棟）完成
- ・被災していたと畜場が完成
- ・池田テツ氏、「瑞宝双光章」受章

2012年（平成24年）

- ・沖富持保氏、「旭日双光章」受章
- ・宇和寺団地（5号棟）完成
- ・（株）ロボテックと企業立地協定を結ぶ
- ・沖繩復帰40周年記念で沖繩返還要求運動を再現
- ・町議会議員定数10名となる
- ・第22回やんばる駅伝競走大会与論大会開催
- ・県営宇和寺団地（1号棟）完成
- ・新防災センター完成
- ・台風15号襲来（最大瞬間風速44.6m/s）
- ・台風16号襲来（最大瞬間風速64.8m/s）災害救助法適用
- ・台風17号襲来（最大瞬間風速61.5m/s）
- ・立て続けに襲来した台風の影響でガソリンが枯渇
- ・「フェリー波之上」新造船就航
- ・名誉町民に徳田虎雄氏を推戴
- ・台風被災者のための応急仮設住宅入居開始（8戸）



台風被害による瓦礫の山(リサイクルセンター)

2013年（平成25年）

- ・千代皇閑十両昇進
- ・福富雄氏、「瑞宝双光章」受章
- ・「静岡県青年の船」40周年・与論渡航35周年
- ・県営住宅2号棟完成
- ・故上野應介氏を名誉町民に推戴
- ・山下中富氏、「旭日単光章」（死亡叙勲）受章
- ・マルコデータベース株式会社「薬草館」完成
- ・社会福祉法人愛心会「ケアホームヨロン」完成
- ・町岡光弘氏、教育長に就任
- ・台風24号襲来（災害救助法適用）
- ・町制施行50周年・パナウル王国建国30周年・町体育協会設立50周年・奄美群島日本復帰60周年記念式典を挙げる
- ・与論町・南島原市姉妹市町協定調印式
- ・口之津・大牟田・荒尾・盤山「移住 開拓の月」除幕式
- ・平田敏秀氏、「旭日双光章」受章
- ・有村栄男氏を名誉町民に推戴
- ・堀田治氏を名誉町民に推戴
- ・東京与論会創立90周年
- ・菊千代氏、「離島振興60周年記念功労者国土交通大臣表彰」受賞
- ・南政吾氏、「全国離島振興協議会会長表彰」受賞
- ・応急仮設住宅茶花団地完成



町制施行50周年記念式典

2015年(平成27年)

- ・染川繁夫氏、「正六位」(死亡叙位)受章
- ・町営矢口団地完成
- ・第37回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳大会を与論町にて開催
- ・山元宗氏町長に就任
- ・第30回国民文化祭かごしま2015開催
与論町はイベント「与論十五夜踊研究の最前線」を開催
- ・与論中学校駅伝部 県大会3位
- ・第1回南三町夢・ときめき高齢者スポーツ大会と与論大会開催
- ・与論小学校創立140周年記念式典を挙げる
- ・第56回日本復帰記念駅伝競走大会を与論町にて開催
与論A(男子)が初優勝



山元宗町長就任

2016年(平成28年)

- ・ヨロシママラソン第25回記念大会開催
- ・与論町消防団、消防庁長官表彰受章
- ・知事と語ろう会開催(伊藤知事来島)
- ・南政吾氏、「旭日双光章」受章
- ・竹下徹氏、「瑞宝双光章」受章
- ・第26回やんばる駅伝競走大会と与論大会開催
- ・第70回県民体育大会カヌー女子団体優勝
- ・田中國重氏、「瑞宝双光章」受章
- ・増尾英機氏、「旭日単光章」受章
- ・与論中学校駅伝部県大会準優勝(九州大会出場)
- ・危機的な状況にある言語・方言サミット(奄美大会)
与論開催
- ・菊千代氏を栄誉町民に推戴
- ・鹿児島県立与論高等学校創立50周年記念式典開催
- ・千代皇閑、東前頭15枚目に昇進し新入幕を果たす

2017年(平成29年)

- ・奄美群島国立公園に指定
- ・クリーンセンター美ら島完成
- ・日本エアコミューター鹿児島・与論間就航40周年
与論町役場、仮庁舎等に機能分散
- ・知事と語ろう会開催(三反園知事来島)
- ・中部日本マルコ株式会社、ヨロシアイランドファーム株式会社と食肉加工場に係る立地協定調印式
- ・Q400型機(琉球エアコミューター)と与論・那覇間就航
- ・沖 富持保氏、「正六位」(死亡叙位)受章
- ・移住定住促進住宅「サンセット江ヶ島」入居募集開始
- ・天皇皇后両陛下御来島
- ・鹿児島県与論会創立90周年



天皇皇后陛下御来島

2018年(平成30年)

- ・与論町多目的運動広場落成式
- ・麓才良氏、「旭日双光章」受章
- ・柳田健一氏、「旭日単光章」受章
- ・大田元茂氏、「瑞宝双光章」受章
- ・台風24号襲来(最大瞬間風速56.6m/s)
- ・関西与論会創立80周年
- ・第29回日本ウミガメ会議と与論島大会開催
- ・交通事故死者ゼロ3000日達成
- ・ATR-72-600型機(日本エアコミューター)と与論・鹿児島間就航
- ・与論町庁舎建設事業起工式

2019年(平成31年、令和元年)

- ・ハレルヤ子ども園新園舎落成
- ・福地元一郎氏、大島郡町村議会議長会長に就任
- ・2020年東京五輪のホストタウンとしてアンティグア・バーブータ国と調印
- ・福地元一郎氏、鹿児島県町村議会議長会長就任
- ・水槽付消防ポンプ自動車(8t未満)を購入
- ・山元宗町長就任(2期目)
- ・有馬節光氏、「瑞宝双光章」受賞
- ・国際観光映像祭「ART&TUR」にてフィルムロケーション部門世界2位を受賞
- ・町マイクロバス(定員26人)をふるさと納税にて購入
- ・与論町新庁舎完成



与論町役場新庁舎

2020年(令和2年)

- ・「与論の芭蕉布製造技術」、国の重要無形民俗文化財に指定
- ・与論町の新型コロナウイルス感染症対策本部設置
新型コロナウイルス感染症のクラスター(集団)が2例発生し、合わせて111人の町民の感染が確認される
- ・古川誠二氏を栄誉町民に推戴



与論の芭蕉布製造技術